

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	佐賀県多久市			代表者名	香月 正則
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	商工観光課	連絡先電話番号	0952-75-2117
担当者役職	商工観光係 係長	担当者氏名	吉永早苗	連絡先E-mail	
住所	846-0002 佐賀県多久市北多久町大字小侍7番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	ICT周遊型・高付加価値観光コンテンツ開発の支援事業		
概要	多久市における、ICTを活用した市内周遊型のイマーシブ体験コンテンツの企画・開発する。本事業は、儒学の聖地として知られる多久聖廟や、地域交流拠点「あいぱれっと」、さらに西溪公園や市内商店街などを舞台とした没入型の仕組みを導入することで、観光客の回遊性を高め、滞在時間の延伸と地域経済への波及効果を図ることを目的とする。				
支援を求める分野	計画策定支援 地域ビジネス 観光				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	240K	令和8年2月22日	支援・助言&フォローアップ	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月30日	講演(実地)	14時00分	22時00分	
				活動時間（分）	420
2-2. 派遣場所	会場名	市役所会議室		最寄駅	中多久駅
	所在地	〒846-0002 佐賀県多久市北多久町大字小侍7-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星				
評価	大変良い				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回の視察では、多久聖廟のボランティアガイドによる案内をはじめ、あいぱれっと・多久駅・ウォールアートプロジェクト・スナック街・炭鉱跡地・ときわ旅館等、市内各所を丁寧に視察いただいた。また、観光協会事務局長およびときわ旅館富永様との個別打合せを通じて、地域の課題と可能性について深く理解を深めていただいた。ICT周遊型コンテンツ設計の視点から具体的かつ確かな助言をいただき、今後の事業推進に向けた共通認識を形成できた。				
アドバイザーへの要望事項	今後の事業化に向け、今回の視察・打合せで得た知見をもとに、地域資源を活かしたシナリオ・動線設計の具体的な提案をいただけますと幸いです。				

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数		8人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	2	0	6	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	市内の観光資源は多く存在するが、それぞれが点在しており、観光客を市内全域へ誘導する回遊の仕組みが不十分である。特に夜間コンテンツや宿泊需要の創出が課題であり、炭鉱跡地やスナック街など独自の歴史的資源の活用も十分に進んでいない。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市内の多様な観光資源（多久聖廟・ウォールアート・炭鉱跡地・ときわ旅館等）を組み合わせた周遊型イマーシブ体験コンテンツの設計に必要な現地情報・関係者ネットワークを整備し、事業化計画策定の基礎を固める。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	令和8年2月22日に実施。観光協会事務局長との事業方針に関する打合せ、ボランティアガイドによる多久聖廟視察、あいばれっと・多久駅・ウォールアートプロジェクト・スナック街・炭鉱跡地・ときわ旅館等の現地視察、ときわ旅館富永様との連携可能性に関する打合せを行った。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	各スポットの特性や関係者の意向を現地で直接確認できたことで、周遊ルートとシナリオ設計の具体的な方向性が明確になった。ときわ旅館富永様との打合せにより、宿泊拠点との連携可能性が確認でき、夜間滞在を組み込んだコンテンツ設計への道筋が見えてきた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
	現地視察と関係者との打合せを通じて、周遊型コンテンツの動線設計に必要な情報を収集し、事業化に向けた関係者ネットワークを構築した。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	シナリオの具体的な内容・制作体制・費用感については引き続き検討が必要。また、地域住民や事業者を運営側として巻き込む仕組みづくりおよび観光協会・ときわ旅館等との正式な連携合意については今後の課題として持ち越している。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回の視察・打合せにはアンケートは未実施。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	令和8年度中に周遊型マダーミステリーのシナリオ骨子を作成し、観光協会・ときわ旅館等の地域関係者と連携した事業化計画書を策定する。3回目の派遣では成果を踏まえたフォローアップを予定。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	多久聖廟・炭鉱跡地・ウォールアート・ときわ旅館など多久市固有の資源を舞台とした周遊型イメージ観光体験を商品化し、日帰り客の宿泊転換と市内全域への回遊を実現する。地域関係者が主体的に運営に参画することで、持続可能な観光振興と地域経済活性化を目指す。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

